

内閣総理大臣 挨拶

全国町村長大会がかくも盛大に開催されましたことをお慶び申し上げます。また、日頃から地域社会の発展に尽力しておられる皆様に対し、心より敬意を表します。

まず始めに、先月26日に総額5.1兆円規模の平成22年度補正予算が成立したことを皆様に報告いたします。円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策として、地域活性化交付金の創設や、地方交付税の増額などの「地域活性化」に関連する施策も数多く盛り込まれていきます。今後、これらの措置の執行に全力を挙げて取り組んでまいります。

現在、私の内閣が最重要政策課題の一つに位置付けて進めている「地域主権改革」は、明治以来の中央集権体質から脱却し、この国のあり方を大きく転換する改革です。「国と地方の協議の場」において藤原町村会長を始め地方六団体の代表の皆様から伺った御意見を踏まえ、地域主権改革の実施に向けた大きな一歩を踏み出します。

まず、すべての省庁の投資補助金を都道府県分・市町村分あわせて一兆円強の一括交付金にする方針です。また、国の出先機関のブロック単位での地方移管を可能とするための法制度整備をすることとします。

年末に最終的な決定を得られるよう、先日、改めて私から関係閣僚に対し、片山大臣と協力し、早急に具体化の作業に取り掛かるよう指示しました。

地域主権改革の推進に、確たる道筋をつけることがこの内閣の使命です。これまでも増して、町村長の皆様の

御理解と御協力を心からお願い申し上げます。

結びにあたり、元気な地域社会創造に向けた全国町村の活性化と、本日御出席の皆様への御健勝を祈念いたし、私共のあいさつとさせていただきます。